

平成 20 年度 ExTEND2005 における身近な野生生物の観察事業について

環境省環境安全課

1. 事業の目的

本事業は、ExTEND2005 における基本的な柱として掲げられた「情報提供とリスクコミュニケーション等の推進」の一環として、子供や一般市民と、化学物質のリスクに関する情報を共有し、化学物質の人への影響だけでなく生態系への影響について理解を促すことを目的としている。

また、「野生生物の観察」の推進に資するものとして、地域に根ざした継続的かつ広域的な観察を行うことにより、多様な生物種を含む生態系の現状把握を行い、これによって専門家による調査への貢献を目指すものであり、同時に、一般国民の生態系に関する関心・興味を喚起することを目的としているものである。

2. 課題（論点）

現状の問題点として、本事業の目的の一つである、化学物質の影響を視野に入れた観察を行うという観点が明確でなく、また、現場においても本事業の趣旨について、十分な理解が得られていない状況である。

まずは生態系に関する関心・興味を養うことが重要であるが、同時に、化学物質の影響に着目した観察となるよう、より一層工夫する必要がある。

ExTEND2005 で行っている他の事業と、更に連携を深める必要がある。

子供だけではなく、学生や社会人も含めたより広い年代の方々に参加していただくことが望ましい。

ネットワーク化も視野に入れた、広域的・連続的な調査・観察を行う必要がある。

3. 平成 20 年度の方向性（案）

化学物質のリスクに関する情報共有・理解の促進、及び子供や一般市民の生態系に関する関心・興味を養うことを目的としたこれまでの観測事業の内容は踏襲しつつも、以下の点について検討を行い、より有益かつ効果的な事業の実施を目指す。

化学物質の影響により一層着目した観察を行うため、事前準備会で指導者（及び子供等の事業参加者）を対象として、従来以上に化学物質に関する勉強を行う等、準備のあり方を検討する。

また、観察において、指導委員から指導を行う際には、従来の視点に加え、化学物質の影響といった視点に特に着目した指導を行う、子供が化学物質の影響という視点から観察が出来る手助けとなるような資料・ツールを用意する等、観察のあり方についても検討する。

ExTEND2005 で実施している他の事業との連携を深めることから、他の事業で対象にしている生物について、特に注目して観察を行う。また、この事業において

特定の生物の異変が疑われる場合、基盤的研究事業等の ExTEND2005 におけるより専門的な調査につなげていく体制作り（事業のネットワーク化）を検討する。

この事業において収集された野生生物に関する情報を、他の事業等で活用することを促すため、情報のデータベース化を検討する。

より広い年代の方々が参加できるよう、参加団体の条件を見直すとともに、一般の方々に対する参画を広く呼びかける。

観測の広域性、連続性という観点から、既存の自然観察ネットワークと連携していく可能性について検討する。